

2020年5月7日

結党2周年を迎えて（代表談話）

国民民主党

代表 玉木雄一郎

本日、国民民主党は結党2周年を迎えた。まず、我が党の活動にご支援・ご協力を頂いている全国の皆様、そして地域において活動している党员・サポーター、自治体議員をはじめ、我が党を支えてくれている全国の仲間に関心より感謝を申し上げる。

国民民主党は結党以来、穏健保守からリベラルまで包摂する改革中道政党として、単なる批判ではなく常に国民生活向上のための解決策、すなわち「新しい答え」を絶えず提案してきた。今回、新型コロナウイルス対策においてもいち早く「一律10万円給付」を提唱して実現に先鞭をつけるなど、現に「新しい答え」を出すことができていると自負している。

また、我が党は「未来先取り政党」として、昨年の参議院選挙では、「家賃補助」や「児童手当の引き上げ」「孤独対策」「どこでもWi-Fi」を重点政策として打ち出したが、今まさに、新型コロナウイルス対策の一環として、こうした政策の早期実現が求められているところである。

今、国民経済と国民生活はさらに厳しさを増しており、政府・与党の対策だけでは国民の不安は払しょくできない。こうした未曾有の状況にあっても、我が党は結党の理念である「改革中道政党」として、「未来先取り政党」として、積極果敢に「新しい答え」をつくりだしていく。